



国際ロータリー第2600地区
上田六文銭ロータリークラブ
 Rokumonsen Rotary Club

2016-17年度
 国際ロータリー会長
 ジョン F. ジャーム

第2600地区ガバナー 原 拓男

【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神 4-24-1
 上田東急REIホテル 3F
 TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002
<http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>
 《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30
 《例会場》上田東急REIホテル 2F
 《創立》1997年2月18日

●会長 西澤 文登 ●幹事 松澤 一志 ●会報委員長 中澤 信敏 ●副委員長 鹿志村恭彦 ●委員 中沢利樹男/斉藤恵理子

例会日誌

司 会	中澤 信敏君
開会点鐘	西澤 文登君
斉 唱	「我らの生業」
プログラム	
会員卓話	笠原 一洋君
	『天皇皇后両陛下お迎えして』

会長挨拶

真田信之の3人の妻



西澤 文登君

今日は久しぶりの晴天です。何か気持ちも明るくなります。それにしても今年の天気はどうなってしまったのでしょうか。こんなに

雨模様の日が続いたことは今までに無かったような気がいたします。

久しぶりに山崎博太先生のお宅をお訪ねしました。とてもお元気なご様子でしたが、足が弱ってしまって、なかなか外出が思うに任せないということでした。送り迎えを我々がしてもよいと申し上げたのですが、建物の中でも誰かの介助が必要になるかも知れない。そうなると気兼ねしながらの出席となって本意ではないということです。「会

員の皆さんに心配をかけ、申し訳ない。」とさかんにおっしゃっていました。創立 20 周年の記念例会には、ぜひご出席いただきたいと申し上げ、辞してまいりました。万全のサポートが必要と思います。体力のご回復を心より念ずるものです。

先日塩田公民館で、元上田市立博物館長の寺島隆史さんの講演会があり、聴講しました。演題は「真田信之の三人の妻」というものです。当日は会場満杯でした。上田の皆さんは勉強家が多いですね。真田丸のドラマでも二人の妻が出ていますが、あれは史実のようです。すでに妻帯していた所に徳川四天王の一人、本多平八郎忠勝の娘が輿入れしたということのようです。しかも徳川家康の養女としてということですから政略結婚そのものですね。一人目の妻は、ドラマでは「おこうさん」と呼ばれ、長野里美さんが演じています。彼女は真田昌幸の長兄・信綱の娘だそうです。いとこ同士の結婚だったのです。その一子「信吉(のぶよし)」は後に沼田の城主になりました。元和 5 年(1619) 9 月 25 日逝去ということで高野山蓮華定院に登牌記録があるそうです。戒名は清音院殿徳誉円寿大姉ということ。

二人目の妻は先に述べた本多忠勝の娘です。小松姫として有名ですね。先妻を押しつけて正室になります。お父さん譲りの気性

で、なかなかの女丈夫だったようです。ドラマでは吉田羊さんが演じています。その子信政(のぶまさ)は信之の後継の松代城主となります。ところが小松殿は草津に養生に行く途中、埼玉県の鴻巣であっけなく亡くなってしまいます。元和 6 年 2 月 24 日のことです。享年 48 歳ということ。何と半年足らずのうちに信之は妻を二人亡くしたことになります。信之は小松殿の菩提を懇ろに弔いました。諏訪部にあった常福寺を下之条に移し、そこに自身が言う「一生の普請」として大伽藍を設けました。小松殿の戒名大蓮院殿英誉皓月大姉から寺名を大英寺とします。しかし大英寺完成からほどなく信之は幕府の命令で松代に移されてしまいます。後に入った仙石氏はそこを芳泉寺とし、現在まで続きます。



小松殿の墓は芳泉寺に残りますが、小松殿の御霊屋(おたまや)は松代の大英寺に移されました。松代大英寺の本堂として現在も使われているのは移築された小松殿の御霊屋です。

小松殿の後に信之を支えたのは 3 人目の妻・清花院です。詳しいことはあまり伝えられていませんが、画像が蓮華定院に残っているそうです。右京とか亀子とかで文書に出てくるそうです。お父さんは近江の武士で真田家の家臣になったということです。

妻ではありませんが、面白いのは松代に

小野お通宛の信之の書状があるのだそうです。松代移封の年、元和 8 年(1622) 11 月 18 日付のものですが、小野お通に侍女の幹旋を依頼した書状です。池波正太郎の信濃大名記に才色兼備の女性として登場するのでご存知の方も多いと思います。架空の人物かと思っていたのですが、モデルが実在したんですね。何で信之からの書状が残ったのか不思議でしたので、寺島先生に質問したところ、お通さんの娘が何代目かの真田家当主の側室になっているのだそうです。大変面白い講演でした。

幹事報告

松澤 一志君

1. 米山奨学会より
 - ・ 8 月の寄付金傾向
2. 地区事務所より
 - ・ ローターリー財団寄付金明細表
3. AMU より
 - ・ 交流部会のお知らせ
4. 長野県東信労政事務所より
 - ・ 東信労働フォーラムの開催について



恵送

1. 丸子 RC 様より・・・会報
全会員配布物
1. 当クラブ会報 第 908 号
2. 東信労働フォーラムご案内

出席・ニコニコBOX報告

田中 栄一君



	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	23	5	-	78.26%
前々回	23	5	0	78.26%

西澤文登君 久しぶりの晴れ間です。心が
晴れ晴れしますね！太陽の力
は偉大です！

鹿志村恭彦君 9/15 第 2 子の女の子が無
事産まれました。

杉山 裕君 腎結石で 9 日間入院いたしま
した。石が取れてスッキリし
ました。

水野泰雄君 今日で御嶽山噴火から 2 年で
す。あの日も今日の様な青空
でした。合掌。

松澤一志君 笠原さん、今日も楽しく驚き
ながら話を聞かせていただ
きます。

飯島俊勝君 笠原さん続きのお話楽しみに
しております。

西澤尚夫君 笠原さん、続き楽しみにして
います。

柄澤 堯君 笠原さんの卓話楽しみです。

肥田野秀知君	笠原 一洋君
北村 久文君	宮原 宏一君
中澤 信敏君	中沢利樹男君
生川 秀樹君	田中 栄一君
山田 豊君	山崎 芳雄君



御見学についての順路等については計画
がおおよそに決まっておりました。お配り
しましたご順路図をご覧ください。

まず、旧常田館前にて両陛下をお迎えい
たしました。非公式でございますので、ご挨拶
は簡略でございました。旧常田館にご用意
いたしました休憩所にて、10 分間のご休
憩をされたのち御見学をいただきました。



旧常田館には上田の繭や信大で研究された
見本などが飾ってございますが、その生糸
は「何で染めたのか」、皇后陛下よりご質問
がございましたので、「しだれ桑の木で染め
たものです」とお答えいたしました。また、
蚕の卵を産ませるため使用した後の切り繭
で作った“すだれ”をご覧になり、こちらが
説明するまでもなく、「これの原料は切り繭
ですね。」とお話しされ、皇后陛下は蚕や繭
などについてのご興味や知識が大変豊富な
ご様子がよくわかりました。

旧常田館を出て選繭場前から社長に替わ
り私が御案内することとなっております。
予定では、繭倉庫前の模型へのご案内する

プログラム

会員卓話

笠原 一洋君

～天皇皇后両陛下をお迎えして～

9 月 13 日例会時にて、さる 8 月 23 日当
社笠原工業(株)旧常田製糸場天皇皇后両陛下
行幸啓についてのお話をさせていただきました
が、再度卓話依頼につき、本日もまたお
話をさせていただきます。

はずが、選繭場前に植えてある 5 種類の桑の木の方へご移動なされ、桑についての御質問をされました。桑の木についての説明板作成を会員の水野さんをお願いし、当日朝に間に合わせていただきました。大変参考になりました。



お帰りの際、また、そこにお立ち寄りなされしだれ桑を作る人がなかなかいない事をお話させていただきましたと、すかさず皇后陛下が「しだれ桑はただ植えるだけではな



く、添え木など手がかかりますからね。」とお話しされ、またまた豊富な知識に驚かされた次第です。

話は戻りまして、両陛下と私でスロープを上り、大正時代の工場模型の前でご説明をいたしました。そこでの予定時間は 2 分間でございましたが、両陛下が、当時の従業員に対しての福利厚生や健康などについて様々なご質問をされ、少し時間が押してしまう程でございました。5 階繭倉庫では階段は昇らず入口で、上の方をご覧いただきました。

事務所棟でお帰りのご休憩所に入られますと、私と社長が呼ばれて同席させていただきました。「当社は明治 33 年に岡谷から上田に参りました。岡谷は製糸の町として今も栄えております」など、簡単にご挨拶をいたしました。前回も少しお話申しましたが、そこで桑の葉から作ったお茶をお出ししましたら、大変ご興味をお持ちになり、桑にちなんだ思い出話などに両陛下のお話が弾み、楽しいひと時をご一緒させていただきました。

お帰りの際にお茶を差し上げた社員 4 名のところに立寄られ、「桑茶をごちそうさまでした。」と丁寧なお言葉をいただきました。社員一同でお見送りさせていただき、定刻にご出発されました。

会員各位のご協力に感謝いたします。

**国際奉仕委員長
宮原宏一君よりお願い**

上田六文銭ロータリークラブは本年度 20 周年を迎えます。
米山奨学生特別寄付金のご協力をお願いいたします